

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立豊新小学校	小学校	児童数	85
-----------	-----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	17.91	18.79	28.79	44.76	54.44	9.33	147.55	19.33	53.19
大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
女子	17.52	18.04	37.24	42.72	36.12	9.44	137.88	11.82	55.02
大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	52.67
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28

結果の概要

ここ数年来、全国体力運動能力調査において、男子 女子とも全国平均もしくは全国平均よりも高い状態が続いている。今年も男子で53.19 女子で55.02と高い値であった。

このような数値は、本校児童が日々運動にかかわりながら生活している子が多いことに起因している。休み時間には運動場が児童であふれかえるほどたくさんの子ども達が、思い思い汗を流している。また、誰もが入れる地域のスポーツ活動（子ども会活動）があるのも大きい。

しかし、体力が比較的高い本校児童でも、長座体前屈、立ち幅とびやソフトボール投げは、全国平均・大阪市平均より大きく下がる。特に、立ち幅とびやソフトボール投げは、普段の生活の中で日常的にある動きではないため、経験の差が大きいと考える。今後は、体育的活動や業間活動の中で、意図的にこれらの動きを用いた運動を取り入れていく必要性がある。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

今後も、運動の日常化をはかるために、遊具の整備、運動用具の整備、運動場の開放等を行っていく。また、体育の時間には、運動量の確保だけでなく、動きを意識することも心がけていく。

今年度の体育的活動として、なわ跳び集会(週間)・かけ足集会(週間)やドッヂボール週間等を設け、全校で取り組んだ。児童の運動に親しむ心情を育み、主体的に運動へ関わる児童も多かった。自信があるなしや得意不得意にに関わらず、様々な運動を経験させること、体を動かす楽しさを味わせることが、体育学習の課題である。現在行っている体育的活動に加え、地域・PTAとも連携しながら、「勝ち負けにこだわらず、誰もが高まる喜びをかんじとれる」ような活動をこれからも考えしていく。